

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		高津区役所まちづくり推進部企画課			桐ヶ谷	64122

事業の概要										
事業の概要		(1)市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2)市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 (3)事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費				
		平成18年度	—							
地域の課題と現状		地域の課題が多様化する中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していくことが必要である。								
予決算 (単位:千円)	年度 財源内訳	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		事業費	1,287	236	3,345	259				
		国庫支出金								
		市債 その他特材 一般財源	1,287	236	3,345	259				

計画 (Plan)	
事業の目的	市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、地域課題の解決やサービス提供をしていく。
今年度の事業の取組内容	(1)令和2年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (2)平成30年度に実施した事業について、外部委員による審査委員会により評価を行う。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		(1)令和2年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定した(平成31年度実施事業はなし)。 (2)平成30年度に実施した事業について、外部委員による審査委員会により評価を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	公開プレゼンテーションの開催	目標	1	1				回
				実績	1	1				
	2	活動指標	審査委員会の開催	目標	2	2				回
				実績	2	2				
				目標						
			実績							
			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和 元 年度 □ 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		関係規定の改正を行い、新規参入団体の育成等の観点から募集の新部門を設けるとともに、実施主体の要件等の見直しを行った。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	平成30年度実施事業(3事業)の評価については概ね高評価であり、一定の成果が出ている。また、令和2年度実施事業にあたっては、予算を上回る9事業の応募(選定は予算の枠内で6事業)があり、事業を見直した成果も出ている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業評価については、次年度の事業をより効果的なものとするため、中間報告の体制を変更するなど内容や仕組みを改善する必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
来年度も事業提案を引き続き募集・選定するとともに、事業評価をより効果的に実施していくための検討を行う。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	15	高津区地域課題対応事業外部評価事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		大橋	64121	

事業の概要									
事業の概要		高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部評価委員(学識経験者)による外部の視点を加えた評価を行うことで、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図る。							
実施期間		事業開始年度 平成18年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域課題対応その他事業費	
地域の課題と現状		地域課題対応事業について、外部の視点による評価を行い、より効果的・効率的に事業を実施し、地域の課題解決を図っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,032	1,031	1,043	839				
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,032	1,031	1,043	839				

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	平成30年度に実施した高津区地域課題対応事業のうち、4事業について、高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を開催し、外部評価委員(学識経験者)による評価を実施する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を3回開催し、平成30年度高津区地域課題対応事業について、4事業の外部評価を実施した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	外部評価実施事業数	目標	6	4				事業
				実績	6	4				
	2	活動指標	高津区地域課題対応事業外部評価懇談会開催回数	目標	4	3				回
				実績	4	3				
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 元 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		評価対象を事務事業から分野全体とそれに関連する事務事業にした。 懇談会も、前年度の実施内容から今後の方向性などの意見聴取にし、未来志向の評価にした。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	外部評価を行う中で、前回評価時指摘事項が改善され効果が出ていることが認められている部分がある。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	懇談会の回数や委員の数、評価方法などの見直しができる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ
	事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められているため、外部評価事業を継続していく。今年度で地域課題対応事業の評価が二巡したため、評価方法の見直しを行った。	